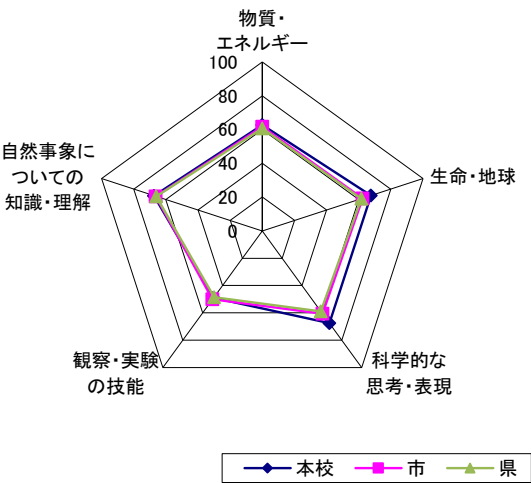


宇都宮市立横川中央小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	62.7	61.7	60.7
	生命・地球	67.6	62.4	61.6
観点	科学的な思考・表現	67.5	60.6	58.9
	観察・実験の技能	49.0	50.1	48.6
	自然事象についての知識・理解	67.4	66.3	66.0



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○物質・エネルギーの平均正答率は62.7%で、県の平均よりも2.0ポイント上回っている。 ○「金属、水、空気と温度」の「指定語を使って、ペットボトルに入った水を凍らせてはいけない理由を説明する」問題の正答率は89.7%で、県の平均より15.1ポイント上回っている。 ○「電気の働き」の「電池のつなぎ方とおもりを引き上げる時間を関係づける」問題の正答率は66.7%で、県の平均より13.3ポイント上回っている。 ●「金属、水、空気と温度」の「水の中から出てくる泡が『水蒸気』と分かる」問題の正答率は29.5%で、県の平均より16.0ポイント下回っている。	・問題の解き直しやフォローアップシートを活用して復習をする。 ・誤答した児童に対して、個別に指導を行い、正しい知識と考え方を定着させる。 ・「金属、水、空気と温度」の学習において、「水の中から出てくる泡が『水蒸気』と分かる」ようにするために、授業中の指導を工夫し、振り返りや家庭学習で復習に取り組めるようにする。
生命・地球	○生命・地球の平均正答率は67.6%で、県の平均を6.0ポイント上回っている。 ○「人の体のつくりと運動」の平均正答率は88.5%で、県の平均より7.0ポイント上回っている。 ○「天気の様子」の平均正答率は62.4%で、県の平均より13.6ポイント上回っている。 ○「天気の様子」の「気温の変化から天気の様子を予測し、理由を説明する」問題の正答率は71.8%で、県の平均より20.4ポイント上回っている。 ●「季節と生物」の平均正答率は60.3%で、県の平均より3.8ポイント下回っている。 ●「季節と生物」の「オオカマキリの図と同じ季節のヘチマの様子が分かる」問題の正答率は53.8%で、県の平均より9.8ポイント下回っている。	・問題の解き直しやフォローアップシートを活用して復習をする。 ・誤答した児童に対して、個別に指導を行い、正しい知識と考え方を定着させる。 ・「季節と生物」の学習において、正しい知識理解力を定着させるための工夫を行う。 ・「季節と生物」の学習において、生物同士の成長の過程を関連付けて理解することができるように指導を行う。